

日本災害看護学会先遣隊令和元年台風第19号活動報告

活動期日：2019年10月15日(火) 2日目

活動地域：千葉県館山地方 被災地域

活動者：先遣隊 山崎 達枝

活動目的：

- 1) 10月12日発生した大型台風第19号の被災状況を把握する。
- 2) 僅かの1ヶ月間に(9月9日令和元年台風第15号)2度の大きな災害に遭遇した、被災者の衛生状態と心身の健康状態、および支援ニーズを把握する。
- 3) 上記1)・2) から必要な支援を考え、適切な支援につなげる。

活動の実際：

10:30 【館山市内】

昨日、「地区の区長さんが疲れています」という情報から、本日15日、区長さんにお会いした。

停電が続いているため、地域住民が小学校に携帯電話の充電、また、土嚢を取りに来るため、区長さんは交代で担当しておられた。

以下、区長さんからいただいた情報を一部紹介する。

この地域には5人の区長がおられ自主防災組織が既に立ち上がっている。代表者、情報受け・指示者、物資担当、ボランティア担当等々それぞれの役割が決まっている。防災士の資格があつて訓練や研修をおこなっている。先の研修では段ボールでトイレを作った。停電だったがここは浄化槽だから(汲み取り式)トイレの心配はなかった。

これまで、津波が心配で、津波のことでよく話し合っていた。台風の話は忘れていた。ここは漁師の町であり、昔、子どものころは、網があつて古くなった網を近所隣と助け合つて屋根にかけて、そして重みをぶら下げる石が家に置いてあつた。しかし、家が2階になったり、漁師が少なくなつたりしたことなどから行われなくなった。

台風第15号の時には、大丈夫と思つていたところに凄い被害を受けた。そのため、台風第19号では、はしっかりと備えた。ブルーテントもしっかりと張りなおしたため、午前中に雨が降ったが雨漏りはなかった。しかし、ブルーシートが剥がれているのは午後から風が吹いたので剥がれてきている。

16:00 【館山市市役所 救護課、高齢福祉課、社会福祉協議会】

各担当者に上記の情報を含め、活動内容を報告する。

課題：

本日区長さんからご紹介された5名の自宅を訪問するが、生憎留守宅が多く対面できず、明日再度訪問することにする。在宅することは水漏れ等で難しい、それぞれ子どもや親戚宅に行かれているようで、なかなか体調について聞く機会が得られない。